

三重県集落営農推進大会

～集落営農の発展と地域の活性化～

三重県の水田は耕地面積の約75%を占めており、農産物生産はもとより、多面的機能や集落機能の維持等に重要な役割を果たしていますが、農業者の高齢化や担い手不足が深刻になってきている中で、将来にわたり水田農業を維持・発展させていくことが重要な課題となっています。

これらの課題解決に向けては、集落合意に基づく三重県型集落営農の確立が有効と考えており、この集落営農の取り組みを安定的かつ継続性のあるものにしていくためには、組織運営体制の強化や法人化による組織の継続性・信用性の確保とともに、経営の多角化・複合化等で、より安定的な経営を目指す必要があります。

本大会は、集落営農組織の組織体制強化や6次産業化等による経営発展や農村地域の活性化について、取り組み事例等をまじえた講演を実施し、今後、集落営農組織が持続的な経営発展に向けて取り組んでいくことを目的として開催します。

と き 平成25年10月17日(木)
13:00～15:50(受付12:30～)

ところ 三重県総合文化センター 中ホール
(津市一身田上津部田 1234)



日 程

13:00～13:10	挨拶	三重県農林水産部長
13:10～14:50	講演	「集落営農の発展と地域の活性化」 一般社団法人北海道活性化機構 代表理事 東京農業大学 教授 コミュニティープロデューサー 木村 俊昭 氏
15:05～15:35	情勢報告	「人・農地プラン等について」 東海農政局 経営・事業支援部 担い手育成課 課長 大浦 俊一 氏 「農地中間管理機構(仮称)について」 東海農政局 経営・事業支援部 農地政策推進課 課長補佐 稲葉 賢治 氏
15:35～15:50	県内の集落営農組織の取組状況報告	「地域活性化プランを活用しよう！」 三重県中央農業改良普及センター 地域農業推進課 課長 宇田 孝彦

～講師 木村 俊昭 氏の紹介～

1960年(昭和35年)北海道生まれ。1984年(昭和59年)小樽市入庁。小樽市時代の街おこしの手腕を買われ、2006年(平成18年)から内閣官房・内閣府に出向し、地域再生や地域活性化を担当、2009年(平成21年)からは農林水産省大臣官房企画官として地域の担い手育成や地域ビジネスの創出、農林水産業を中心とした6次産業化等を担当。現在は、一般社団法人北海道活性化機構代表理事や東京農業大学教授、コミュニティープロデューサー、地域活性化学会理事(広報交流委員長)などとして、北海道をはじめ全国各地で講演や現地アドバイスをを行い、地域活性化のために奔走、活躍されています。

○主催

三重県、三重県農業再生協議会、三重県農業協同組合中央会、三重県農業会議、公益財団法人三重県農林水産支援センター

○問い合わせ先

三重県農林水産部担い手育成課 上田・加藤 Tel 059-224-2354 FAX 059-224-2558